

報告事項コ

「赤ちゃん登校日」指導者の認定について

「赤ちゃん登校日」指導者の認定について、別紙のとおり報告します。

平成23年12月22日

鳥取県教育委員会教育長 横 濱 純 一

## 「赤ちゃん登校日」指導者の認定について

家庭・地域教育課

赤ちゃんとその保護者が学校を訪れ、小・中・高校生とふれあうことにより、児童・生徒が命の尊さを深く認識し、コミュニケーション能力を図る「赤ちゃん登校日」を、多くの学校で取り組むことができるように、NPO法人未来に委託し、「心のふれあいプロジェクト指導者養成事業」（平成21～23年度）を実施し、昨年度の4名に続き、今年度8名を指導者として認定した。

### 1 「赤ちゃん登校日」指導者認定

#### (1) 指導者認定

(2) の講座をすべて終了した者（8名）

岡垣 祐子（鳥取市）	ト蔵 久子（米子市）
伊藤 幸恵（倉吉市）	山根 郷子（米子市）
八木 正美（倉吉市）	木山 昌巳（米子市）
相見貴代子（米子市）	野坂 康二（米子市）

#### (2) 指導者認定のための講座

講座1	○「赤ちゃん登校日」を理解するためのコミュニケーション人間関係力を学ぶ「赤ちゃん登校日」授業の理解と関心を深める。
講座2-①	○「赤ちゃん登校日」事前学習の見学 基本的マナーやコミュニケーションについて学び、児童や生徒の心を内面から揺さぶり、自分自身の生き方や人間関係づくりの確かな基礎を築く。
講座2-②	○「赤ちゃん登校日」（関わり体験）の見学 赤ちゃんやその保護者を学校に招き、児童・生徒と継続して関わり体験をもち、赤ちゃんの成長や命の尊さを心と肌で実感しながらコミュニケーションについて学ぶとともに、人の愛情に気づく。
講座2-③	○「赤ちゃん登校日」の授業指導の実践 「赤ちゃん登校日」の授業を指導者として実践する。
講座3	○「赤ちゃん登校日」の実践のためのフォローアップ講座 指導者養成講座参加者やこれから指導者を目指す方が研修や意見交換を行う。

#### (3) 「赤ちゃん登校日」指導者認定証書交付式

日時 平成23年11月20日（日） 午後4時20分～  
会場 上井公民館（倉吉市）  
内容 指導者認定証書、認定証カードを交付



#### (4) 成果と課題

- ・昨年度4名、今年度8名、合計12名の「赤ちゃん登校日」の指導者を養成、認定した。今後、県内で乳幼児と小・中・高校生がふれあう機会がさらに広がることを期待できる。
- ・「赤ちゃん登校日」等を実施していくには、赤ちゃんの募集など、市町村教育委員会と子育て支援担当課の連携が必要であり、内容や方法、必要性や効果などを市町村、学校等に広く広報していく必要がある。

#### (参 考) 「赤ちゃん登校日」とは

鳥取大学医学部高塚准教授が提唱。赤ちゃんやその保護者を学校に招き、児童・生徒と継続して関わり体験をもち、赤ちゃんの成長や命の尊さを実感しながら、コミュニケーション（お互いの考えや気持ちを理解し合う）を学び、人の愛情に気づくなど参加者相互に気づきや学びがある授業。